

中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行

別添2(入国用)

流行地域からの帰国者で心配な方は 検疫官に申し出て下さい

【症状】

主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。これらの症状は軽く、通常、2～7日続きます。

【治療等】

対症療法となります。通常は比較的症状が軽く、特別な治療を必要としません。

【予防対策】

流行地域に渡航される際は、長袖、長ズボンの着用や、蚊の忌避剤(虫除けスプレー等)の使用などにより、蚊に刺されないように注意してください。

【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外(米領サモア、マーシャル諸島、サモア、トンガ、カーボベルデ及びタイ)でも発生しています。



※平成28年2月24日現在 中南米における流行地域

【流行地域に渡航された方へ】

蚊にさされたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。

また、性交渉による感染リスクも指摘されており、流行地域から帰国した男性で、妊娠中のパートナーがいる場合は、パートナーの妊娠期間中は、症状の有無にかかわらず、性行為の際にコンドームを使用してください。

なお、心配なことや発熱等の症状が出た方は、最寄りの保健所等にご相談ください。

検疫所ホームページ FORTH
<http://www.forth.go.jp>

FORTH